

出向く宮農レポート

～品質向上を目指して～



南部宮農センター
野田 知希

農業歴30年以上のベテラン、近藤かま子さんの圃場へ出向きました。かま子さんはタマネギ、キャベツ、白菜、大根、ブロッコリーなど多品目栽培をしており、学校給食に向けて4月からタマネギを、6月にはキャベツの出荷を予定しています。学校給食の他にも、東郷グリーンセンターやららぽーと愛知東郷へも出荷していただいています。

今回、学校給食に向けた出荷が迫るタマネギの生育確認をしました。タマネギは、3月に入り、気温が高くなってくると「アザミウマ」の被害に注意が必要です。適期の防除を行わないと、カスリ状に色が抜けて白くなり、品質の低下や傷口から病気の発生を助長します。圃場でアザミウマの被害を確認し、葉の隙間にアザミウマの幼虫を発見したため、グレースシア乳剤で防除いただくよう指導しました。

近藤さんには、今年の4月から学校給食へ美味しい玉ねぎを出荷できるよう早生品種の「春一番」を900本作付けしていただきました。収穫・出荷するまで気を抜かず、今後も病害虫の発生に注意し、継続的に訪問をしていきます。

グレースシア乳剤



有効成分が直接害虫に作用し、チョウ目害虫やアザミウマなど幅広い害虫に効果があります。

たまねぎのアザミウマ対策

- 希釈倍数：2000～3000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：収穫7日前まで
- フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数：2回以内

使用に際しては製品ラベルの記載内容に従ってご使用ください。

